



民生委員制度創設100周年

～見守る・つなぐ・育む～

民生委員制度が始まって今年で100年。
皆さんは、ご自分の地域の民生委員・児童委員さんをご存じでしょうか。
制度創設以来、民生委員・児童委員の方々は地域の身近な相談相手として、
さまざまな活動を行ってきました。
今回は、その活動についてご紹介します。

民生委員・ 児童委員とは？

民生委員は、無償のボランティアで、地域の身近な相談相手です。市民の皆さんの立場に立ち、信頼関係を築きながら親身になって相談に応じています。相談者それぞれに必要な支援を行い、社会福祉の増進に取り組んでいます。

また、民生委員は、法律に基づき厚生労働大臣から委嘱された特別職の地方公務員であり、児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。地域の子どもたちが元気に暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援を行っています。市内では、90人（うち主任児童委員14人）の民生委員・児童委員が活動しています（平成29年10月1日現在）。

主任児童委員とは？

主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。他の民生委員・児童委員や学校、関係機関などと協力しながら、子育て支援や児童の健全な育成のための活動に取り組んでいます。

私たちに
何でもご相談ください!!

井手 鏡子さん
（民生委員・児童委員）

山口陽助さん
（民生委員・児童委員）

石川由美子さん
（主任児童委員）

平島加代子さん
（主任児童委員）

民生委員制度創設100周年に寄せて

私が民生委員・児童委員になったきっかけは、仕事を辞めるまで何も地域のお役に立つようなことをしてこなかったため、故郷のために何かお役に立ちたいという思いからです。

今年で民生委員・児童委員に就任して7年目になります。が、会長として民生委員制度創設100周年という節目の年に出会えたことを光栄に感じておりますし、民生委員活動の中で一番の思い出になると思っております。

制度創設100周年の機会に小郡市民生委員児童委員協議会で、何かを残したいと思

い「記念誌」を作ることになりました。100年の歴史を調べる中で、方面委員や民生委員・児童委員の先輩方が築いてこられた歴史や使命感を、今後の活動につなげていかなければならないと思っています。

今年の12月3日、小郡市文化会館で、民生委員制度創設100周年記念大会を開催いたしますので、ぜひ市民の皆さまにご参加いただき、民生委員・児童委員、主任児童委員の活動や制度を知っていただけたらと思います。（詳細は5ページに掲載）

民生委員制度 創設の歴史

今年で民生委員制度は、創設100周年を迎えます。民生委員制度は、1917年に岡山県で誕生した「済世顧問制度」が始まりです。翌年には大阪府で「方面委員制度」が発足し、1928年に全国へ普及。戦後1946年、民生委員令の公布により名称が現在の「民生委員」に改められました。

この間、一貫して生活困窮者の支援に取り組むとともに、特に戦後は、時代の変化に応じて新たな活動に取り組むなど、地域の福祉増進のために常に重要な役割を果たしてきました。

小郡での歴史

小郡での民生委員制度の歴史をさかのぼると、1935年に方面委員（現民生委員・児童委員）が配置されていたことが確認されており、戦後は、疲弊した地域の中で援助活動を行っていました。

特に、小郡にも甚大な被害をもたらした1953年と1963年の豪雨の際には、地域住民の支援に尽力されました。

1976年9月には、小郡市内の全民生委員・児童委員で組織される小郡市民生委員児童委員協議会が、幼児の健康診断や障がい児の早期発見の取組などが評価され、全国民生委員児童委員連合会から表彰を受けました。

平成に入ると、急速な少子高齢化などを背景とした多様な社会問題が顕在化し、行政が担う福祉サービスへの協力や相談・支援活動など、民生委員・児童委員が担う役割が大きくなっていました。

特に1997年から現在まで続いている「ふれあいネットワーク活動（見守り訪問やサロン活動などを実施）」では、活動推進の重要な役割を担っています。

また、2010年には、「ふれあいネットワーク活動」や、主任児童委員と民生委員・児童委員が一体となつて行う「学校訪問」・「見守り活動」などが高い評価を受け、小郡市民生委員児童委員協議会として、全国民生委員児童委員連合会から、2度目の表彰を受けました。



民生委員・児童委員
バッジ

近藤忠義さん

小郡市民生委員児童委員協議会会長

日々の暮らしの中で安心を



田中猛さん

小郡市民生委員児童委員協議会
東野校区会長

私は、地域に住む人々が、日々の暮らしの中で安心や楽しみを感じることが出来る場を作りたいという思いから、月1回のサロンを約5年半続けています。

サロンは、体操やゲーム、茶話会などをおして、近所の人たちと知り合い、楽しみながら語り合う場となっています。サロンが終わり、皆さんが「楽しい時間を過ごせました」と言ってくると、笑顔で帰られる姿に、民生委員・児童委員としてのやりがいを感じています。また、地域の方々にお声かけいただけるのも楽しみの一つになっています。

民生委員・児童委員を約10年間経験して、今後何かしらの形で福祉に関する事に携わっていったらという思いを持っています。

高齢者・子どもの生活を豊かに



秋山範重さん

小郡市民生委員児童委員協議会
立石校区会長

地域に貢献したい、その中でも特に、高齢者や子どもたちの生活を豊かにしたいという思いを持って活動に取り組んでいます。

どうやって地域を良くしていくのかという方法はいっぱいあると思いますが、その中でも私自身が出来る範囲内の活動に、一生懸命取り組ませてもらっています。また、私一人では出来ない活動には限界がありますが、区長さんをはじめとした地域の方々や行政などと連携・協力することで、活動の幅が広がっていくということを、活動する中で感じています。

地域住民の生活がより豊かになるよう、今後やりたいことはいっぱいありますが、地域での活動を継続させていくためにも、思いや活動を次の世代につなげていけたらと思っています。

民生委員・児童委員の活動を紹介します

見守る



▲見守り訪問活動

「こんにちは！お元気ですか？」「今日はいい天気ですね」と、玄関先で何気なく交わされる会話。

民生委員・児童委員は、高齢者や障がいのある人、生活上の問題を抱えている人などで、見守りを希望する人などを対象に、見守り訪問活動を行っています。

定期的に自宅を訪問し、顔を見て言葉を交わしながら、日々の生活に異変や困りごとがないかどうかの確認や、支援が必要なる人を把握します。また、日常生活に対する不安や悩みについて、親身になって相談に乗っています。

民生委員・児童委員には、法律で定められた守秘義務があるため、安心して相談できます。



▲学校との意見交換会

「介護保険制度を利用したいけど、どこに相談すれば良いかわからない」「子育てのことで悩んでいるけど相談先が分からない」

こんな時、民生委員・児童委員に相談すると、行政や関係機関につないでくれます。同時に、福祉サービスなどの情報を提供し、困りごとの解決のお手伝いをしてくれます。

また、主任児童委員は、特に子育てに関する悩みごとや、教育に関する相談を受けています。相談を受けた時、すぐに関係機関へつなぐことができるよう、日頃から学校や幼稚園・保育所、地域の子育て支援団体などと、顔の見える関係を築いています。

育む



▲サロン活動

近年、人と人とのつながりが希薄になる中、地域の身近な場所、つながりを育むサロン活動が行われています。

サロンの参加者は、一人暮らしの高齢者、高齢者のみ世帯の人などを中心とした地域住民です。活動内容は健康体操、血圧測定、食事会、レクリエーションなど、各地域によって特色あるサロン活動が展開されており、地域住民の居場所になっています。

民生委員・児童委員は、自治会役員や地域の福祉活動者などと協力しながら、サロン活動を開催しています。サロン活動を通じて、参加者同士のつながりや、民生委員・児童委員と参加者のつながりなど、人と人とのつながりが育まれ、安心できる日常生活につながっています。



中島輝光さん

社会福祉協議会地域福祉係長

Interview

民生委員・児童委員の皆さまには、ふれあいネットワーク活動や共同募金をはじめ、地域に関するさまざまな活動にご協力いただいています。

民生委員・児童委員さんは、地域の身近な相談相手であり、お互いに地域に関する情報交換をしながら、地域課題の解決につなげていただくなど、地域と深く関わらなければいけない、細やかな活動をしています。

社会福祉協議会としても、これからもお互いに協力しながら、よりよい地域福祉活動を行っていききたいと思います。

お知らせ

民生委員制度創設100周年記念

入場無料

小郡市民生委員児童委員大会

期日 12月3日(日)
会場 文化会館大ホール
プログラム

- 記念式典
午後1時30分～
(受付1時～)
- 民生委員制度創設100周年
記念誌発行に寄せて
午後2時～
- 記念講演
午後2時30分～
演題 「美味しく食べて楽しく歩こう
～薬に頼らず健康に暮らすために～」
講師 宇多川久美子さん

